

# ひとを育てる活動

現地パートナーとともに支援するビラーン、チボリ、マノボ、ムスリム等、各民族の子どものページです

— 本号では、新たに届いた奨学生や里子、卒業生の手紙(抄訳)を中心にご紹介します —

## ☆ CMIP 経由カレッジ奨学生

ジェニー：NDGU 生物科4年・医師志望

今は卒業論文と格闘中です。登校前の5-9と帰宅後8-10時まで下宿先の家事手伝いをして、真夜中まで勉強という日課です。大変ですが、家主はよくしてくれるので頑張れます。医学部予備試験は



## ☆ JOFPA 基金奨学生 ゴルディ・マリー：看護コース2年

前期での最大の出来事は戴帽式で、看護師の仲間に入ったと実感しました。出産介助の実習も忘れられません。耐え難い痛みを耐えて、一人の命を世に送り出す女性の営みに感動しました。来週は期末試験で、結果は11月第1週に出ます。



## ☆ CMIP 経由元カレッジ奨学生(卒業生) アイリーン

ジェラルディン、マリー・グレース、私の新卒3名は、CMIPナブル・カマガヤ小の補助教員として働いています。私は9月までの毎週末、他の2名は10月から教師国家試験(LET)準備塾に通い、3月のLETに挑戦します。在学中の奨学金に加えてのLET受験支援に感謝しています。



— SCMSI 経由チボリの里子現況報告(9/20入手)から —  
一年1回の現況報告に添付された子どもたちの手紙は、6月の学期初めに書いたようで、ほとんどが家事や畑仕事を手伝った等の夏休み(4-5月)の生活に触れたものになっています。その中から、休み中の特別体験や将来の希望に触れた2名の手紙をご紹介します。

## <将来は警察官に> ケンマーク：デコロンハイスクール9年生

僕の好きな教科は数学です。難しい問題を解いた時の喜びは格別です。人生でも同じで、困ったことがあっても必ず道は開けます。将来は警察官になって人を助けたいです。里子である僕のことを誇りに思っていていただけるように頑張ります。



## <州知事選挙のボランティアをしました>

シェーラ・メイ：デコロンハイスクール10年生

夏休みにはコロナダル市で友人と知事選挙のチラシ配りなど手伝いました。チボリ以外の人との会話は初め緊張しましたが、すぐ慣れました。今年10年生です。将来は何か専門職に就いて家族や社会の役に立ちたいです。小学生の時からずっと支援いただきとても感謝しています。



## 高まるカレッジ進学ニーズにこたえるために！

教育支援の優先課題、「すべての子どもに初等教育を！」は、辺境の村の教室建設や給食支援、奨学金や教育里子などの個別支援を通じて、さらに、近年は政府の教育福祉政策の進展で、ゴールが垣間見えてきました。一方で、増えているのがカレッジや専門学校生の奨学金に対するニーズです。上記の里子や奨学生の手紙からも、地域と家族のために専門知識・技能を習得したいという希望や覚悟が読み取れます。

カレッジで学ぶためには、前号で報告のように、授業料他学費だけで、最低年額18,500ペソ(約4万円)ほどかかります。最貧家庭が多いCMIP経由ビラーン等の学生の場合は、下宿代や交通費の一部も支援しているため年額約5万円を支給しています。私たちが目指す先住民族の経済的自立のためには、能力と意欲ある青年たちに専門教育の機会を増やすことが肝要です。

「今後の活動の方針」を討議した8月開催理事会(P6 関連記事)でも、教育支援分野の重視とともに、カレッジ奨学生支援会費(現行月額3,000円)の値上げ案が審議され賛成多数で、以下のように決まりました。

\* 新規に1対1でカレッジ生支援の場合は、月額4,000円(年額48,000円)で協力をお願いします。

\* 教育全体支援(月額一口500円)会員の増加で、カレッジ生を含む奨学金や給食支援財源を確保する。

なお、後期開始を前に、SCMSIからは、前号P3で紹介のカレッジ2年生ジェシー・キムについて再度支援要請をうけました。卒業までの2年半の奨学金支援にご協力いただける方のご連絡お待ちしております。(事務局)



## 里親がきました！

前号P3でお願いした子どもたちの中、Ayen(SCMSI 1歳児)の里親が決まりました。カレッジを卒業した子どもにかわり支援したいとお申し出です。ご協力に感謝いたします。